

ことねぎだより

2019年4月号 NO.143 WEB:kotokyoto.co.jp TEL:075-601-0668



暖冬とはいえ、陽が出ていないとひやっと冷たいと感じる気候でしたが、寒さも弱まりやっと春らしい日々の訪れ。

畑では土筆も出始め、農作業は夏に向けての準備に想いを寄せて気忙しくなりだしました。

こと京都・ことグループは、法人化してこの春から18年目となります。天候に悩まされ、またその



苦難を乗り越えた経験を糧にして組織体制なども見直し、今期の課題・目標に向かっていこうと意気込む春です。

今月のことねぎ

- 今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語(事)を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。
-
-
-
-

昨年の秋、冬前頃に定植し、背丈が低い時から寒い環境・被覆トンネルの中でじっくり育ち、三月になって春の日差しを浴びたばかりの「春葱」のお届け。霜が降りた時期も過ぎているので、葉は少し重みがありしつかりめの食べ応えがあります。



こと京都のリクルート活動

就職・転職フェア 出展の様子

3月16日
農業特化の合同説明会
アグリク2020

農業に興味を持っている学生・社会人の方達がたくさん集まるフェアに出展！



「ねぎに特化」「6次化」「就農・独立」などのテーマやポイントに関心のある方や、農業界について知りたいと積極的な方がブースに来訪。また、来訪者の方と接する機会があることで、会話の中で私たちに求められていることについてのヒントがあり、環境整備や人材育成についての見直しにも繋がることも。農業界への就職・就農も年によって変化があるので汲みとるようにしています。



京都市内の方では観光名所で桜が開花。視界いっぱいに広がるねぎ畑も、やわらかな青い空とのコントラストが綺麗です。

春の到来、夏を見据えての作業の毎日

ほんの数日前まで肌寒いと感じていたと思えば、「いよいよ春がきた！」と感じる頃合いに急に気忙しくなるこの時季。現在、農人たちは夏に向けて耕起、若ねぎの定植作業の日々。晴れ間を狙い終日一気に進めていきます。土台となる土は、ひと雨降ると水気が抜けにくく耕起のトラクターが入れなかったり、足場が悪く定植で腰を屈むのに負担がかかったり足踏みしながらの春のスタートです。



ねぎの生育と人の成長



ちょうど1年前に仲間入りした農人はすっかり頼もしくなって現場を引っ張っていく存在に。日々、小さなことの改善や実践など積み重ねをしているようです。指導する後輩が増えることで、より本人たちが成長する機会になると、ねぎの生育とともに人の成長も楽しみです。